

令和 5 年 3 月 7 日

保護者様

加古川市立氷丘中学校
校長 加藤 勉

令和4年度 学校アンケートの結果について

春寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

平素は、本校の学校教育にご協力とご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、ご協力いただきました保護者アンケート及び、生徒、教員によるアンケートの結果の概要を下記のとおりご報告いたします。なお、結果の詳細は本校のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

また、本結果については学校運営協議会で報告し、委員からのご意見（学校評価）も踏まえて次年度の教育活動に生かしてまいります。

記

(1) 生徒アンケート結果から

- ・校訓を指標とした分析を行った結果、「友愛」「正義」「感恩」に関しては昨年度同様高い数値を示し、本校の生徒の素直さや真面目さ、そして、思いやりの心が育っていることがわかりました。
- ・設問別では、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」、「友だちに会うのは楽しいと思う」、「友だちや支えてもらっている人に感謝し『ありがとう』の気持ちを伝えている」などが高い数値となり、周囲との人間関係が良好な生徒が多いと考えられます。
- ・「自主」「創造」に関しては、平均的な数値でしたが、「1日(24時間)をどう使うのかの見通しをもって計画的に行動している」の数値が低く、平日にゲーム等を2時間以上する生徒が51%（R4は53%）いることも含めて、昨年度から引き続いての課題となりました。

(2) 保護者アンケート結果から

- ・「学校の取組」については、学校教育目標の実現に向けた行事や学習活動、情報発信に一定の評価をいただきました。次年度も継続していきたいと考えます。
- ・子どもたちのトラブル、いじめ、不登校等への対応や支援は平均値でありましたが、さらに生徒一人一人に寄り添った対応を心掛けてまいります。
- ・「家庭での教育」については、勉強や進路のことなどよく話をされていること、いじめはいけないことだと話しておられるご家庭が多いことがわかりました。前述の生徒アンケートの結果に結びついているものと思います。
- ・見通しをもって計画的に行動することができる子どもの育成には、学校と家庭の連携が重要だと考えます。

(3) 教員アンケート結果から

- ・授業については、学習規律をきちんと指導しようとする意識や、生徒理解に基づく指導を心掛けているという項目で高い数値となりました。今後も継続してまいります。
- ・新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」のある授業やICTを有効活用した授業改善には、まだ課題があると考えます。学校全体として、授業力の向上を目指した取組を進める必要があります。
- ・いじめの未然防止に努めており、前述の生徒アンケートや保護者アンケートの結果と連動していると考えます。現状に満足せず、生徒一人一人に寄り添いながら教育活動を進めてまいります。